

**ハム** EKAROJ は1972年秋の創刊から10年を迎える。エスペラントクラブ無線局 JA1YAR の免許(1960年)から20年あまり、長い努力の結果か、最近のハムの交信はかなり充実してきている。太平洋ロンドの朝の定時交信、毎週金曜日の国内定時交信、日曜・月曜の ILERA 定時交信などである。日本と外国では、ハワイ、オーストラリア、メキシコ、シベリアが當時可能で、ヨーロッパとも状態がよい時は、定時交信ができる。

EKAROJ、太平洋ロンドでは、日本国内あての海外からの交信証の転送を正式に開始することにした。エスペラント交信による交信証で、中島恭平氏あてに送られて來たものについては、EKAROJ・P/R 誌発送と同時に転送される。費用は無料扱いである。交信相手の住所がわからなくても安心して日本へは交信証が送れることになる。当分の間外国向けの交信証の転送は行わないが、外国局の住所は、EKAROJ で問い合わせに応じる。

'82年から EKAROJ 連絡誌の年間予約制(600円/年)も開始。国内エスペラントハム局のマイコンによるリスト作りも200人近くのデータがファイルされ、'82年以後の発送リストはすべてコンピュータ化された。カタカナによる全局名簿も夏頃までに完成の予定。一般希望者にも有料で配布の予定で作業中である。

EKAROJ '82年2月号を70円切手つき返信用封筒同封でお申し込みを! なおハムでない方も年間予約していただければ、不定期刊ですができしだいお送りします。〒157 世田谷区南烏山3-11, 19-207 タナカヨシカツ。

なお、「エスペラントの世界(月刊)」エスペラント通信社発行の'81年11月号から12回にわたり「エスペラントとハム」の連載がはじまっている。〒136 江東区南砂2-3-8-1403へお問い合わせを。年間2,400円。

## 第69回

### 日本エスペラント大会

8月28,29日、鎌倉市で開催

開催地の決定が遅れていた今年の日本エスペラント大会は、大会常置委員会(KKK)の要請で関東エスペラント連盟(FEDK)が引き受けこととなった。

関東連盟では傘下の東京エスペラントクラブ(TEK)を中心として、8月下旬東京近郊で日本大会を開催することを決定し、準備活動に入った。スケジュールは第1日目(土曜日)午前に日本エスペラント学会員総会があり、大会行事は午後から開会式。第2日目(日曜日)に講演会、閉会式と続く。この間、並行して分科会が開かれる。

昨年に統いての東京での日本大会開催のため、今年の大会は分科会を中心とした質実な大会となりそうである。

今年の日本大会について、関東エスペラント連盟の大庭篤夫会長は次のように語っている。「今年は積極的に日本大会を招致する地方会がなかったので関東連盟がお引き受けすることにしたが、招致希望の地方会が全然なかったのではなく、最終的な決心がつかず見送りとなつた感がある。どの地方会でも容易に安心して日本大会が引き受けられるように全国のエスペランチストの支援体制確立の必要が痛感される。昨年は世代交替期を通過しつつあること、世界の中での日本のエスペラント運動の役割とを意識して日本大会を企画した。今年も似た状況にあるが、エスペラント発表100周年にあと5年となったことが特筆される。今年は特に分科会が活発に行われるよう配慮し、皆様の提案等を積極的に活用し、昨年の大会の経験を生かして地味であっても成果の期待される大会となるよう努力したい」

【33-129】

第三刷は明るいブルー。用紙が上質だが厚目で、E 最大の辞書は枕なみの厚さ(11,000円)。